

週刊

愛知民報

2022年
6月19日
第2590号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

迫る参院選

平和とくらしを守る 共産党強く大きく

すやま候補 東三河で宣伝



「比例代表は日本共産党、愛知選挙区は、すやま初美へ」と支持を訴える、(左から)すやま初美愛知選挙区予定候補、佐藤郁恵豊川市議=11日、豊川市

「くらしをつぶす大軍拡ストップ、憲法9条守れ」と宣伝する中区後援会の人たち(手前)とビジョンカー12日、名古屋市中区



名古屋でビジョンカー運行

の立場を示しました。

すやま候補は10日、名古屋青年会議所主催の参院選立候補予定者の公開討論会に出席。原発問題で「再稼働は不要。再生可能エネルギーの普及促進」を主張しました。自民、公明、国民、維新の各候補は再稼働推進・容認の立場を示しました。

日本共産党愛知県委員会では11日、県委員会総会を開きました。22日公示・7月10日投票の参院選で、「比例を軸に」を貫き、愛知で「43万票、15%以上」を獲得して、たけだ良介氏を含む比例5人の当選と、愛知選挙区、すやま初美氏の勝利という「2つの任務」を達成するための方針を決めました。「党員でも赤旗読者でもない人がピラを100枚配ってくれた(西三河)街頭で対話したら『総選挙で自民党に入れたことを後悔している』という青年から『100年戦争に反対した共産党はすごい』といわれた(民青同盟)など

「比例は共産党」 たけだ氏含む5人押し上げよう

1998年参院選 「比例を軸」に、八田氏押し上げ

日本共産党は、1998年の参議院選挙で改選6議席から15議席に大躍進。比例では全国で819万5078票(愛知では36万8872票)を獲得し、8人(立木洋、市田忠義、岩佐恵美、吉岡古典、池田幹幸、小池晃、林紀子、小泉親司の各氏)が当選しました。

選挙区では愛知を含む7議席を獲得。愛知選挙区(定数3)の八田ひろ子氏は45万3298票を得て当選。現職の環境庁長官に競り勝ちました。(3面に関連記事)

志位和夫委員長来る

6月23日(木) 12時半 栄オアシス 21

たけだ良介さんは、参議院の環境委員会、国土交通委員会、決算委員会、そして、軽やかなフットワークを生かして災害、子育て、暮らし、コロナ、現場に駆けつけて問題を国会でよく取り上げてこられました。会議に衆参の議員を代表して参加されました。以来、日本共産党の国会議員団にどうしても必要な議席でよ、そして再生可能エネルギーを、みなさんのお力で押し上げていただきたい。

「環境問題の論客」 たけだ良介

参院議員・比例予定候補

5日の日本共産党愛知県委員会の選挙用事務所開設式で、井上さとし参院幹事長は、たけだ良介参院議員の実績を紹介しました。県党は参院選方針で「比例は共産党」と広く有権者に党名投票を呼びかけつつ、党員は候補者名で「たけだ良介」と投票を呼びかけています。

たけだ良介さんは、参議院の参議院の第一人者で、環境委員会、国土交通委員会、決算委員会、そして、軽やかなフットワークを生かして災害、子育て、暮らし、コロナ、現場に駆けつけて問題を国会でよく取り上げてこられました。